

「平成28年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第1回）」
議事概要

I 日 時

平成28年6月16日（木）16:00～18:00

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室2～5

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

松田 憲二（有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング 代表取締役）

和田 義博（公認会計士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

(1) 審議事項案件

- ① 7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等
- ③ 平成27年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 平成28年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

(2) その他

V 議事内容

- (1) ① 平成28年7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成28年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
- I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 企画競争で調達を行う際には、予算額と比較した企画案の価格積算の妥当性について検証を行うこと、加えて、事業の費用対効果について事後検証を厳格に行うこと。</p> <p>② 総合評価落札方式での調達を行う際に使用する評価基準書の作成については、機構内で統一されたルールを作成を検討するとともに、書面とプレゼンテーションで二段階の評価を行う際には、それぞれの評価基準書の役割・目的を明確にし、重複なく効率的に評価が行われるよう検討すること。</p> <p>③ 低落札率の案件については、入札時の競合環境による影響度とともに予定価格の算出プロセスの妥当性についても事後検証すること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいります。</p>

- ③ 平成27年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 平成28年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

標記について、昨年度の調達等合理化計画の自己評価の報告と今年度の調達等合理化計画案の審議が行われ、それぞれについて了承された。

(2) その他

平成28年6月～9月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。